



2016年度システムチェンジ・コストダウン計画が提案されました

新潟地本は昨年末、「2016年度システムチェンジ・コストダウン計画」として、「ダイヤ改正の実施について」、「びゅうプラザ販売体制の見直し」について提案を受けました。

ダイヤ改正の実施について

ダイヤ改正に伴う要員増減

新潟運輸区 運転士 △4
車 掌 △3

長岡運輸区 運転士 +1
車 掌 △3

【施策実施日 ダイヤ改正日】

糸魚川快速廃止、そして「四季島」が運行

要員増減について、支社側から、新潟運輸区については糸魚川快速廃止により効率的な行路運用ができたため運転士△4車掌△3と提案がありました。長岡運輸区については、長岡～直江津間のワンマン運転4往復拡大により車掌△3、「四季島」運行の波動と直江津～長岡間快速運行により運転士+1との説明でした。

この間議論してきたワンマン拡大による問題の一つ、常時混雑する1750M、1721Mが両数変更に伴いツーマン列車となります。しかし同様に混雑する列車は現行通りであり今後もワンマン列車選定の議論は継続していかなければなりません。また今回いわゆる越後南線へのワンマン拡大を実施しなかった理由は、設備的な見直し・修正を丁寧にするためとのことで、この間の議論が活かしていることを確認しました。

びゅうプラザの販売体制の見直しについて

施策実施における要員増減

酒田駅 びゅう営業 △3
長岡駅 びゅう営業 △2
新潟駅 びゅう助役 △1
びゅう営業 △7
燕三条駅 びゅう営業 △1
上越妙高駅 びゅう営業 △1
合計 △15

【施策実施日2017年4月1日】

エージェント担当の業務は全て移管するため

旅行業商品の委託販売業務の(株)びゅうトラベルサービスへの移管に伴い、びゅうプラザの体制見直しを行うという提案です。以前の効率化により涉外担当はエージェント担当となり、支社内に7名配置されておりました。今回、そのエージェント担当の担っていた業務である外部エージェント(JTB等の委託販売会社)とのやり取りを全て移管することにより、収入状況なども勘案して総合的に判断したとし、全体で△15という提案を受けました。

現場の声をもとに、しっかり精査していこう!

いずれの施策においても現場の声を労働組合としてしっかり吸い上げ、現場視点・お客さま視点から施策実施前に問題点・解明点を支社と議論していきます。